

平成 30 年度 第 1 回三条市総合教育会議 会議録

1 日 時	平成 31 年 3 月 14 日 (木) 午後 2 時 30 時～ 2 時 45 分
2 場 所	三条市役所栄庁舎 201 会議室
3 出席者	構成員 (6 人) 國定市長、長谷川教育長、長沼教育委員、渡辺教育委員、 小林教育委員、佐藤教育委員
	事務局 (7 人) 栗山教育部長、遠藤教育総務課長、栗林子育て支援課長、 高橋小中一貫教育推進課長、捧教育センター長、 大谷教育総務課課長補佐、西澤教育総務課庶務係長
4 傍聴人	2 人
5 議 題	(1) 三条市の教育全般に関する意見交換について
6 会議内容	
國定市長	<p>1 開会</p> <p>それでは定刻となりましたので、これより平成 30 年度第 1 回三条市総合教育会議を開催させていただきます。</p> <p>本日は、大変御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>今年度は、教育委員の皆様が学校訪問や行政視察等をされる中で、三条市の教育全般に関し御意見や御要望などをお伺いし、自由に意見交換をさせていただく場にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
國定市長	<p>2 議題</p> <p>それでは、早速ではございますが、三条市の教育全般につきまして各委員の皆様方から御意見、御要望等をお伺いできればと思います。</p> <p>大変恐縮ではございますが、私から順次指名をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず始めに長沼委員さんからお願いしたいと思います。</p>
長沼委員	<p>私からは、特別支援の取組について発言させていただきます。</p> <p>中学校卒業後、高校、専門学校、大学を卒業しても人と目が合わない、話をするときの動作が不自然など、発達障がいと思われるような特性を持つグレーゾーンと言われる子が多く見られます。</p> <p>義務教育では、個に応じた支援のための合理的配慮に関わる多くの研修が行われており、支援のスキルが向上していると思いますが、グレーゾーンの子どもたちが中学を卒業し高校入学後すぐに中退し、ひきこもったり、学力が付かないまま劣等感だけを持って卒業するなど、社会に出る力を身に付けることができず何年も社会参加できない子どもたちが増えていると感じています。</p> <p>このようなグレーゾーンの子どもたちがひきこもりになった場合、そこから就労に至ることが困難な場合が多く、そのような子どもたちを就労につなげる場が必要だと感じていますが、そのような場の提供について市長</p>

市長	<p>はどのようなお考えでしょうか。</p> <p>御案内のとおり、中学校におきましては、生徒個々の特性であったり希望する進路先につきまして、保護者の皆様と共通理解を図りながら進路相談を行っているところでございます。また、進路先の高校等へも生徒個々の特性を引き継ぐことで入学後の支援体制も引き続き整えさせていただいておりますし、子ども・若者総合サポートシステム、これがようやく起動し始めたなという実感を持ち合わせておりますので、更なる周知であったり中学卒業時のこのシステムへの登録につきましても引き続き進めてまいりたいと思っております。</p> <p>それから、ひきこもりなどの若者に対しては、青少年育成センターのアウトリーチを含む青少年相談のほか、サポステによります就労支援も行っているところではありますけれども、一朝一夕に事が成し遂げられるような状況ではございませんので、来年度はひきこもりの状態から就労につなげる橋渡しのところについて、新たな場を設けていきたいと考えておりますので、引き続き御指導を頂戴できればなと思っております。</p>
渡辺委員	<p>それでは、引き続きまして渡辺委員さんからお願いしたいと思います。</p> <p>私からは、学校におけるプログラミング教育の実施とICTの活用について発言させていただきます。</p> <p>2020年度から小学校では、新学習指導要領が全面实施となり、続いて翌2021年度には、中学校でも全面实施となります。</p> <p>新学習指導要領では、児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の具現を目指していますが、その中で情報活用能力の育成のため、ICT機器の環境整備や有効活用を図ること、また、小学校の児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるためのプログラミング教育の実施などが盛り込まれています。</p> <p>プログラミング的思考やICTの活用能力などは、ものづくりのまち三条の子どもたちにとって、今後ますます大切な力であると私も考えており、教育委員会としても検討を進めなければならないと考えていますが、この点について、市長はどのようなお考えをお持ちなのかお伺いしたいと思います。</p>
市長	<p>プログラミング教育の実施とICTの活用について御示唆いただいたところでございますが、渡辺委員さんから御指摘いただきましたとおり、ものづくりのまち三条としてこうした取組を進めていくことは、子どもたちにとっても非常に重要だと思っております。</p> <p>御指摘いただきました新しい学習指導要領の全面实施に向けまして、まずはプログラミング教育やICT活用に関する教職員研修を充実させて、教職員の力量の向上を図っていくことが必要だと思っております。</p> <p>そんな中で、世界の教育現場ではICTの活用によって学びの環境が革新され始めているところでございます。来年度の予算の中で、こうした世界の状況を教育委員会として学ぶ段取りも進めているところでございますので、こうしたことを積重</p>

<p>小林委員</p>	<p>ねながら教材、教育方法の在り方に関する研究も併せて行っていききたいと考えておりますので、引き続きのアドバイスを頂戴できればと思っております。</p> <p>続きまして小林委員さんからお願いします。</p> <p>私からは、部活の指導員について、とりわけ中学校の部活の指導者についての質問ですが、現在指導補助者というものがあることは承知しておりますが、三条市においても近隣で導入を進めている学校職員としての部活動指導員の導入を考えられた方がよいと思うのですがいかがでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>部活動の指導者の人材が枯渇しているというところからの問題意識だと思うのですが、御指摘いただきましたように、三条市では指導補助者という制度がありますので、少なくとも来年度はこの指導補助者の充実を図っていきたく思っています。</p> <p>加えて、小林委員が言われた部活動指導員、事前にお伺いするまで私もよく分かっていなかったのですが、国が制度を創設してまだ間もないということもありますので、必要性というか有効性は理解しているつもりですので、もう少し他市の事例も含めて勉強させていただいて三条市としての取組にどうやって盛り込めるか研究していきたく思いますので、小林委員さんからも情報がありましたら御指導いただければと思います。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>続きまして、佐藤委員さんからお願いします。</p> <p>私からは、三条市の特色を活かしたキャリア教育について意見交換させていただきたいと思います。</p> <p>ものづくりのまち三条の子どもを育成するには三条市の特色を活かしたキャリア教育の推進が必要であると考えています。三条市には素晴らしい人材や地場産業があるので、そうした地域の人材や産業と連携・協力しながらキャリア教育を進めていくとよいのではないかと考えておりますが、そういったところについて市長から御意見をいただきたいと思います。また、そういった取組をコミュニティ・スクールの学校運営協議会の中で考えていただければと思いますが、市長がどのようにお考えかお聞きしたいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>キャリア教育については、正に今おっしゃられたとおり、先ほどの渡辺委員さんからの御指摘もそうなので、ものづくりのまちにとってみると非常に大切というか必要不可欠な取組だと思っております、これまでもキャリア教育は進めてきたところではありますけれども、今後ますますその重要性は高まってくるものと認識をしております。</p> <p>その中で、小中学生とは違いますが、技能創造大学が平成 33 年度に開学を予定しておりますが、こういうような動きもちょうど出てきておりますので、今ほど申しあげました三条技能創造大学であったり、地域おこし協力隊であったり、もちろん主役である市内企業の皆様方からも御協力いただきながら、是非連携をさせていただいて、具体的な体験活動を通してこの地域の良さを実感いただくことで地域を担う意欲であったり、力が生まれてくるのかなと思っております。</p>

<p>教育長</p>	<p>そんな中で具体的にコミュニティ・スクールの中での取組はどうかということですが、素晴らしい御提案だったと思います。是非、学校運営協議会の中でこうしたことをテーマに話し合っていていただいて、児童生徒に体験的学習の場として提供していく仕組みができれば各学園の良さも併せて子どもたちに知っていただくことができると思いますので、是非検討の遡上に上げていきたいなと思っています。</p> <p>その他皆様方から何かございましたらお願いしたいと思います。よろしいですか。</p> <p>それでは特段ないようでございますので、教育長の方から何かございましたらお願いしたいと思います。</p> <p>2点ございまして、1点目は本日お忙しい中、総合教育会議という形で教育委員の意見をお聞きいただきありがとうございますございました。平成31年度以降の教育施策について、教育委員会で検討しながら市長へ協議をしてみたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>もう1点は、こういった総合教育会議的なものではなくて、教育委員の方で日頃考えられていることを次の施策に活かしていくという意味も含めて、市長と意見交換、懇談というもう少しフリートキングできる場を設けていただけるとありがたいなと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>そこが一番大切だと思っていますので、よろしく願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>3 閉会</p> <p>それでは、これもちまして総合教育会議は閉会とさせていただきます。</p> <p>皆様方から貴重な御提言を頂戴できたと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>